印籠！政府いよいよ乗出すような奴があったら徹底的にうちのめせ！

風紀係の指令を還元せよ

爭議団の行動は依然強固なので、これを内部から切崩そうとして「爭議団は風紀荒廃だ」の明朗果敢が成っていない」とへんな噂が飛ぶ。この噂の傳播者が誰であるかは全くおかしな風紀問題にすり替えて、所謂細心の注意をしつつ——風紀係の指令を還元——で爭議団は絶対に応じない。

たない様組合員に（エンピロ）

応援隊は後々かかりて来てゐるぞ

爭議の長期化に伴い、工藤方、自由会傳家会員宮方派遣各中部から応援の手先が次々（めかりてゐるから皆敗が）ゾロゾロ来てゐるぞ

今を待つてゐるぞ！南爭議団は今日再び全員の各方農民部に対し爭議応援の依頼状を出した。応援団では今後のデモや事務カンケイ仕事はなかなかなりなることになったぞ！

応援団と敵側すると共に応援団に大望を与へ（ホントウ）無二の乳を出せ！

（完）

5.7.5
1339

勞秘第一、七八三號

昭和五年六月七日

警視總監　丸山鶴吉

内務大臣　安達謙藏殿

社會局長官　吉田茂殿

各廳府縣長官殿（北海道、京都、大阪、神奈川、兵庫、愛知、静岡、福岡）

星製藥株式會社勞働爭議ニ關スル件（再　第十報）

要旨

(1) 爭議団本部ニテハ六月廿日午前十時三十分頃ヨリ無名集會シ且部士カ不穏ノ言辞アリタルニヨリ中止ヲ命ジタルニ反抗セルヲ以テ解散ヲ命ジタリ右解散ヲ服従ニテ反抗セズ大混乱ニ陥ル

(2) 解散ヲ命ゼラレタル本部員ハ二名位々殴打セルニヨリ會社ニテハ直チニ警備隊員ヲ以テ警備会ヲ面会シ出入者ヲ制限セリ

(3) 右解散ヲ不當ナリトシ労農党上村、細迫ハ當庶特高課長及大崎署長ニ抗議シ更ニ會社ニ対シ従来ノ如キ内密貸金ノ貸與其他ヲ要求セルモ拒絶セラレタリ

(4) 爭議者及同盟、社員除盟対會社ノ交渉ハ具体化セズ